＜MODEL:P6200＞ ver 1.0

取 扱 説 明 書

卓上式 紙折機

◆機能向上のため、予告なしに仕様変更することがあります◆

martin yale® *Industries, LLC.*

目　次

◆ 目　次 2

◆ 注意書 3

◆ 安全上のご注意 4

１．外　観 5

1- 1)　外観と各部の名称 5
1- 2)　仕様 6
1- 3)　お買い上げ品の確認 6

２．ご使用前の確認と注意事項 7

2- 1)　紙折りしてはいけない用紙の一例 7
2- 2)　ご使用前の注意事項 7

３．ご使用前のセットアップ 8

3- 1)　ペーパーストップの位置確認 8
　　ペーパーストップの取り外し 8
　　ペーパーストップの取り付け 8

４．操作方法 9

4- 1)　給紙操作 9
4- 2)　操作上の確認と注意事項 9

５．紙詰まり解消方法 １０

5- 1)　紙詰まり解除ハンドルの使用方法 １０
5- 2)　用紙が取り出せない場合 １１

６．メンテナンス １１

6- 1)　お手入れ方法 １１

７．保証書の内容について １２

　　お問い合わせ先 １２

紙折機　注意書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、卓上式 紙折機 Ｐ６２００をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
この注意書および取扱説明書には、安全にお使いいただくための注意と、本機を使用するために必要な取り扱い方法が載っています。本機をご使用になる前に、この注意書および取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくご使用くださるようお願いします。

警告・注意見出しについて

この注意書および取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただくために、絵表示付きの警告・注意見出しを使っています。これら見出しの付いた注意書きには、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐための大事な注意が載っています。警告・注意見出しの付いた注意書および取扱説明書は、次のことを知らせています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています
⚠ 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負うか、または物的損害のみの発生が予想される内容を示しています

⚠ 警　告

1. 100V以外の電圧では使用しないでください。火災となる危険性があります。
2. 電源コードに傷を付けたり、改造したりしないでください。感電、火災の恐れがあります。
3. 万一、発熱、発煙、異臭等の異常を発見したときは、すぐにアダプターの電源プラグ又は、本体側のプラグを抜いてください。そのまま使用すると、感電や火災の恐れがあります。
4. 万一、異物（金属片、液体等）が本体の内部に入ったときは、すぐにアダプターの電源プラグ又は本体側のプラグを抜いてください。そのまま使用すると、感電、火災の恐れがあります。
5. 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
6. 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体をしっかり持って抜いてください。
   コードを引っ張って抜いたりすると、傷が付き、感電、火災の恐れがあります。

⚠ 注　意

1. ご使用中、可動部分には、絶対に手を入れないでください。けがをすることがあります。
2. 用紙以外のものは、絶対にスロットへ挿入しないでください。故障の原因となります。
3. 分解したり、改造したりしないでください。けが、感電の恐れがあり、故障の原因となります。
4. 設置場所から本製品を移動するときは、必ず本体からプラグを抜いてください。
   接続されたまま移動すると、コードが傷つき、感電、火災の原因となることがあります。
5. 子供の手の届かない所に設置し、子供には使わせないでください。けがをすることがあります。
6. 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

安全上のご注意

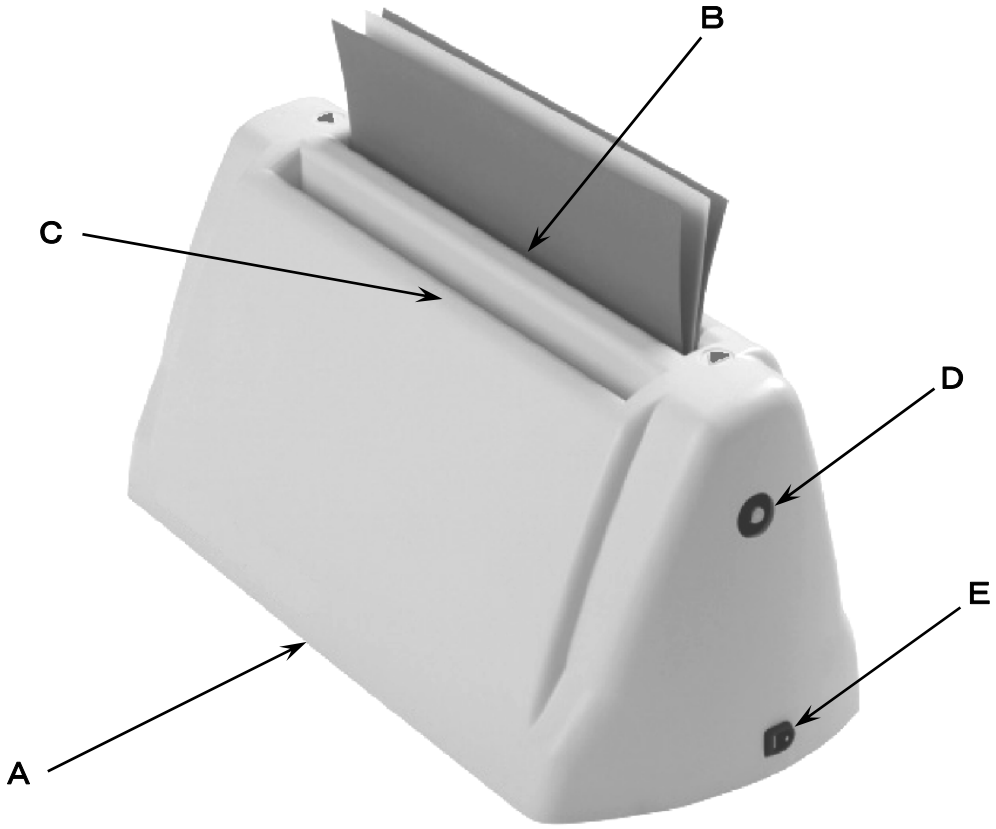
安全にお使いいただくために、ここに表示された注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害・財産への損失を未然に防ぐものですから、かならずお守りください。

⚠ 注意　この注意事項を守らなければ傷害を負うか、又は物的損害が生じる可能性があります。	
この表示は、してはいけない「禁　止」内容です。	この表示と、絵が表示されているマークは必ず実行していただく「強　制」内容です。

⚠ 注意	
	ネクタイ・ネックレス（宝飾品）・髪・衣類の袖など、引き込まれないよう十分に注意してください。 けがの原因となります。
	用紙が引き込まれる途中で、無理に引き戻さないでください。けがや故障の原因となります。
	紙折り動作中の回転可動している部分には、絶対に手を触れないでください。けがの原因となります。
	製品の分解・改造は絶対にしないでください。故障やけがの原因となることがあります。
	用紙以外のものは絶対に挿入しないでください。（ビニール系用紙含む・プラスチック板・アルミ板 等） 製品内部に詰まって、損傷・破損、および故障の原因となることがあります。
	異物が付着している用紙は、絶対に挿入しないでください。（輪ゴム・粘着テープ・のり・封帯・クリップ 等） 用紙の損傷・破損、製品の故障の原因となることがあります。
	損傷している用紙は、絶対に挿入しないでください。（切れ・破け・湿気を含む・濡れている 等） 製品内部に詰まって、損傷・破損、および故障の原因となることがあります。
	全体にシワがある用紙・折り目が強い用紙・四隅が大きく折れ曲がった用紙は、そのまま紙折り機に挿入すると、本体内部に用紙が詰まり、故障の原因となります。
	紙折り可能な枚数は、１～３枚までです。 ３枚以上は絶対に差し込まないでください。故障の原因となります。
	本体を清掃するときは、必ず本体からプラグを外して行ってください。 プラグを外さずに清掃を行うと、感電・けがの原因となり危険です。
	グラついたり、傾いたりしている不安定な場所に設置して使用しないでください。 落下する危険があり、製品の損傷およびけがの原因となります。
	持ち運ぶときは、本体接続のプラグを必ず外し、製品正面から本体の底部を両手でしっかりと持って移動してください。本体底部を両手で持たずに持ち運ぶと、落下させる危険があり、けがおよび製品の損傷原因となります。

１．外　観

1-1）外観と各部の名称



各部の名称

No.	名　称	数量	内　容
A	**卓上式紙折機（Ｐ６２００）**	１	紙折機の本体です。
B	**給紙スロット** ※1	１	用紙を挿入するスロットです。
C	**排紙スロット**	１	折りたたまれた用紙が出てくるスロットです。
D	**紙詰まり解除ハンドル差込口**	１	紙詰まりのとき、用紙を手動で排出するための 解除ハンドルを差し込む部分です。
E	**電源ピンコネクター** ※2	１	アダプターのピンプラグを差し込むソケットです。

※1：用紙を差し込むと、１～２秒程してから作動します。
※2：本製品には、電源スイッチが付いておりません。用紙を給紙スロットに差し込むと作動します。

1-2) 仕　様

製　品　名	卓 上 式 紙 折 機
型　　式	Ｐ６２００
用 紙 の 紙 質	コピー紙・上質紙（60～90g/㎡）更紙／（16～24lb）
用 紙 サ イ ズ	Ａ４(210×297㎜)・レターサイズ(8.5×11㌅)
折 り の 種 類	１種類（内三つ折り）
給 紙 枚 数	１～３枚（コピー用紙64g/㎡）
	最大３枚までの重ね折りが可能（ホッチキス留めした用紙も可）
給 紙 方 法	手動給紙（自動作動・停止）
処 理 速 度	約２．０秒
処 理 枚 数	約１，８００枚／時
本 体 サ イ ズ	323㎜(W)x140㎜(D)x150㎜(H)
本 体 重 量	約４．１kg
電　　源	ＡＣアダプター：入力ＡＣ１００ｖ（５０／６０Ｈｚ）　０．４Ａ 出力ＤＣ　２４ｖ　１２００ｍＡ
消 費 電 力	４０ｗ

1-3) お買い上げ品の確認（全ての付属品が揃っているか必ず確認してください）

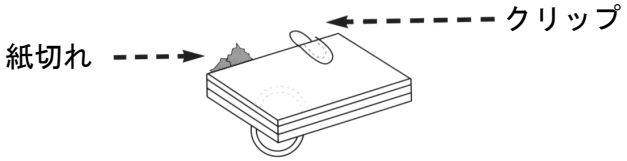
紙折り機本体 （１台）	電源コード付 アダプター （１個）	取扱説明書 （１冊）
ペーパーストップ （１個） ※本体にセット	紙詰まり解除ハンドル （１個） ※本体にセット	保証書 （１枚）

２．ご使用前の確認と注意事項

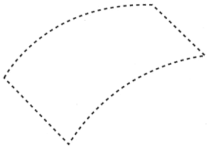
2-1）紙折りしてはいけない用紙の一例

※下図のような用紙を紙折りすると、製品内部で用紙が詰まります。
　また、製品が故障する恐れがありますので、絶対に紙折りしないでください。

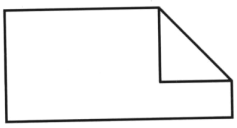
湿気を含んで、濡れている用紙
切れ・破れがある用紙



紙切れやクリップが付いた用紙
その他、異物が付着している用紙



極端に曲がり癖の付いた用紙



完全に折れ曲がった用紙

2-2）ご使用前の注意事項

１．仕様上の用紙・サイズ及び寸法以外は、絶対に紙折りしないでください。
　※紙折り可能な枚数は、１～３枚までです。３枚以上は絶対に差し込まないでください。
　※無理に給紙スロットへ差し込んで紙折りすると故障の原因となります。

２．表面がコーティングされている用紙（表面に光沢のあるツルツルした用紙）は、
　かならず１枚ずつ差し込んでください。
　※用紙１枚が厚い用紙では、複数枚を差し込むと紙詰まりの原因となります。

３．全体にシワがある用紙、強く折れ目のある用紙、角が折れ曲がっている用紙は、
　必ずきれいに伸ばし、できるだけ平らにしてください。
　※きれいに伸ばさずに紙折りすると、紙詰まりの原因となります。

４．用紙はきちんと四隅を揃えてから、給紙スロットへ真っ直ぐに挿入してください。
　※揃っていなかったり、斜めに差し込むと、用紙が曲がって折られたり、用紙が
　詰まる原因となります。

５．用紙に異物が付いている場合は、必ず取り除いてください。
　※紙詰まり、及び故障の原因となります。

６．湿気を含んで弱くなっている用紙は、紙折りしないでください。
　※紙折り途中で破けて、紙詰まりの原因となります。

３．ご使用前のセットアップ

警告：紙折り機のご使用準備が整うまで、電源アダプターは接続しないでください。
セットアップ中、ご使用中及び保守点検中は、手・髪の毛・衣服・宝飾品を
可動部分に近づけないでください。紙折り機のメンテナンスを行う際は、必ず
電源アダプターのコネクターを本体から抜いて行ってください。
注意：製品本体の設置場所
しっかりと安定したテーブルに設置してください。

3-1）ペーパーストップの位置確認

◆ペーパーストップの取り外し・取り付け方法
※ペーパーストップは、本体底部にセットされています。
※工場出荷時の設定は、Ａ４用紙の位置にセットされています。

１．ペーパーストップ（緑色）の位置を確認してください。
使用する用紙に適した位置にあることを必ず確認してください。（図１参照）
①レターサイズ：上側（ 8.5×11in ）の位置にセット。
②Ａ４サイズ　：下側（Ａ４用紙）の位置にセット。
２．ペーパーストップの位置を変更する場合は、ペーパーストップの中心部分を
後方に押し曲げながら、片側ずつ引き抜いて外してください。
３．ペーパーストップをはめ込むときは、片側を差し込んでから中央部分を押し曲げ、
もう片方を差し込んでください。
注：ペーパーストップは、用紙サイズ表示位置にある差し込み穴に、必ず水平に
取り付けてください。段違いにセットすると用紙詰まりが発生します。

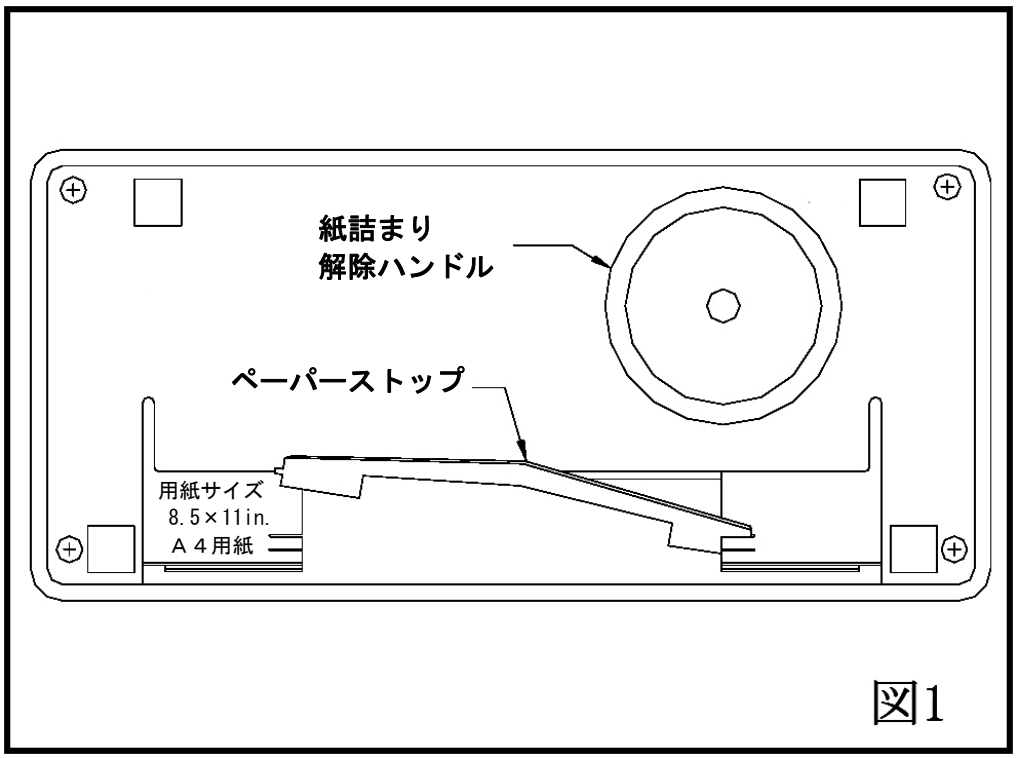


図1

４．操作方法

4-1）給紙操作

重要：ペーパーストップが使用する用紙に適した位置にあるか必ず確認してください。
　　レターサイズ：上側、Ａ４サイズ：下側（図１参照）

図２

１．本体右側の丸型ソケットに、電源コード付き
　アダプターの丸型プラグを差し込みます。
　電源コードのプラグをコンセントに差し込むと、
　電源ＯＮの状態になります。
　（注：本製品には電源スイッチはありません。）
２．給紙スロットに用紙を差し込んでください。
　（最大３枚まで）差し込むと同時に、自動的に
　給紙作動が開始します。
　注：用紙を差し込んでから、約１～２秒程で
　　給紙作動が開始されます。
　注：自動で引き込まれるまで、用紙を手で軽く
　　支えてください。（図２参照）
３．折りたたまれた用紙が排紙スロットから出てきます。
　取り出してください。

4-2）操作上の確認と注意事項

１．給紙スロットには、３枚以上の用紙を絶対に差し込まないでください。
　紙詰まり及び故障の原因となります。
２．排紙スロットに用紙があるときは、必ず取り出してから給紙スロットに
　用紙を差し込んでください。
　取り出さずに給紙スロットに用紙を差し込むと、紙詰まりの原因となります。
３．ホッチキス留めした用紙も折ることが出来ます。
　ただし、折られる位置にホッチキス留めした用紙は折ることが出来ません。
４．窓付き封筒用に折りたたむ場合は、用紙の上端を上にし、記入面を本体正面側に
　向けて用紙を挿入してください。（図３：外表三つ折り）
５．ビジネスレター（記入面を内側）を折りたたむ場合は、用紙の上端を上にし、
　記入面を後方に向けて挿入してください。（図３：中表三つ折り）

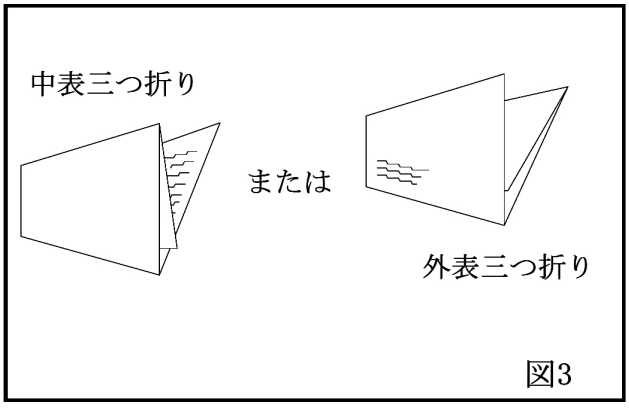


図3

５．紙詰まり解消方法

※仕様以上の枚数（３枚以上）や異物付き用紙（クリップ他）・用紙の斜め挿入及び排紙スロットの用紙を取り出さずに給紙スロットに用紙を挿入してしまった場合に、用紙が本体内部で詰まってしまうことがあります。
以下の手順に従って、詰まった用紙を取り出してください。

5-1）紙詰まり解除ハンドルの使用方法

１．本体に接続されているプラグを抜いてください。
２．本体を後方へ倒して、底部が正面になるようにしてください。
３．本体底部にセットされている、ペーパーストップを外してください。（図１参照）
４．同様に本体底部にある紙詰まり解除ハンドルを外してください。
※左右に回転させると、取り外せる位置がありますので引き抜いてください。
５．本体を起こしてから、取り外した紙詰まり解除ハンドルを、本体正面右側にあるＤ型のピンに合わせて差し込んでください。（図４参照）
６．紙詰まり解除ハンドルを前後に回してください。
詰まった用紙が給紙・排紙スロットまたは、ペーパーストップのセット部分に排出されてきますので、ゆっくりと引き出してください。
７．用紙を引き出すことが出来たら、ペーパーストップと紙詰まり解除ハンドルを元の位置に戻してください。（図１参照）
８．プラグを本体に差し込み、試し折りを行ってください。

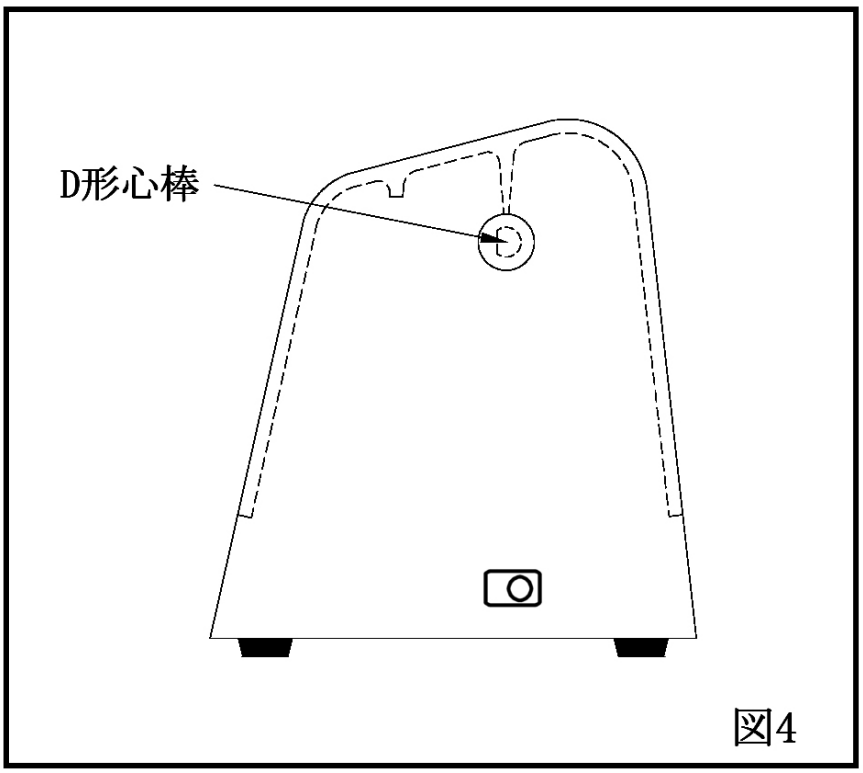


図4

5-2) 用紙が取り出せない場合

◆紙詰まり解除ハンドルで、用紙が取り出せない場合は、本体カバーを取り外す
必要があります。以下の手順で行ってください。
ご不明な場合は、お買い求めになった販売店にご相談ください。

１．本体接続のプラグを抜いてください。
２．本体底部が正面になるように、後方に倒してください。
３．ペーパーストップを取り外してください。
４．本体底部の４隅にあるネジをプラスドライバーで外してください。（図１参照）
５．本体を通常使用時のように立てて置きます。
６．本体カバーを上方に引き上げて外してください。

注意：本体右側にある電源ピンコネクターに引っ掛かって本体カバーが外しにくい場合は、無理に外さず、お買い求めになった販売店または、１２ページの販売元まで、お問い合わせください。

７．本体カバーを外すことができたら、上部にある黒いゴムローラー部などの
隙間に挟まっている用紙をきれいに取り除いてください。
警告：上部の用紙検知センサーと右側面の電装基板回路には、絶対に触れないでください。

８．挟まっている用紙が取り除けたら、本体カバーを元のように本体にかぶせて
４本のネジでしっかり締め付けてください。
９．ペーパーストッパーを元の位置にセットしてください。
１０．紙詰まり解除ハンドルを元の位置にセットしてください。
１１．電源プラグを本体に差し込み、不用な用紙で試し折りを行ってください。
１２．給紙スロットに不用な用紙１枚を差し込んでください
１３．問題なく正常に作動し、排紙スロットからきれいに折りたたまれた用紙が
排出されているか確認してください。

６．メンテナンス

6-1) お手入れ方法

※長期間のご使用で、給紙ローラー部分に用紙の紙粉や汚れが付着します。
紙粉や汚れが付着すると、用紙がスムースに給紙されなくなり、紙詰まりの
原因となりますので、定期的に市販のエアーダスターなどで、清掃してください。

１．本体に接続されているプラグを抜いてください。
２．給紙スロットの挿入口から、市販のエアーダスターなどで紙粉を吹き飛ばして
ください。
３．エアーダスターなどで清掃しても、用紙がスムースに給紙されない場合は
お買い求めになった販売店にご相談ください。

７．保証書の内容について

＜保証書＞
◆よくお読みのうえ、必ず大切に保管してください。
◆取り扱い販売店名・お買い上げ年月日・製造番号などの記入もれがないか、
　必ず確認してください。
※記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。

＜修理依頼について＞
◆ご使用中に故障と思われる症状が発生した場合は、取扱説明書１０ページに記載の、
　５．紙詰まり解消方法の内容をよくお読みいただき、症状が改善されない場合は、
　お買い求めになった販売店にご相談のうえ、修理の依頼をしてください。

＜保証期間中の故障について＞
◆取扱説明書にしたがった正常な使用状態で、保証期間中に故障が発生した場合は、
　保証書をご提示のうえ、お買い求めになった販売店にご依頼ください。
　保証書の《無料修理規定》にしたがって、修理をさせていただきます。

＜保証期間を過ぎてからの修理について＞
◆お客様のご要望により、お見積もりおよび、修理を有料にてお受けいたします。
　お見積もりのときに、修理をお受けしても製品の機能が維持できない場合は、
　ご相談のうえ、買い替えをお勧めすることがあります。

＜その他＞
◆本製品を譲渡、または貸し出される場合は、必ず取扱説明書を一緒にお渡しください。

◆その他、本製品に関してのご不明な点は、お買い求めになった販売店、または
　下記の販売元までお問い合わせください。

◆その他、ご不明な点は、お買い求めになった販売店、または下記の販売元までお問い合わせください。

お問い合わせ・・・・・

販売元

株式会社 ニューコン工業
〒132-0021 東京都江戸川区中央1-8-15
TEL(03)3655-6151（代表） FAX(03)3655-6201
URL http://www.newkon.co.jp
E-mail newkon@newkon.co.jp

パーフォレーター | パンチングマシン | シールプレス

NKP620020140820V1.0